

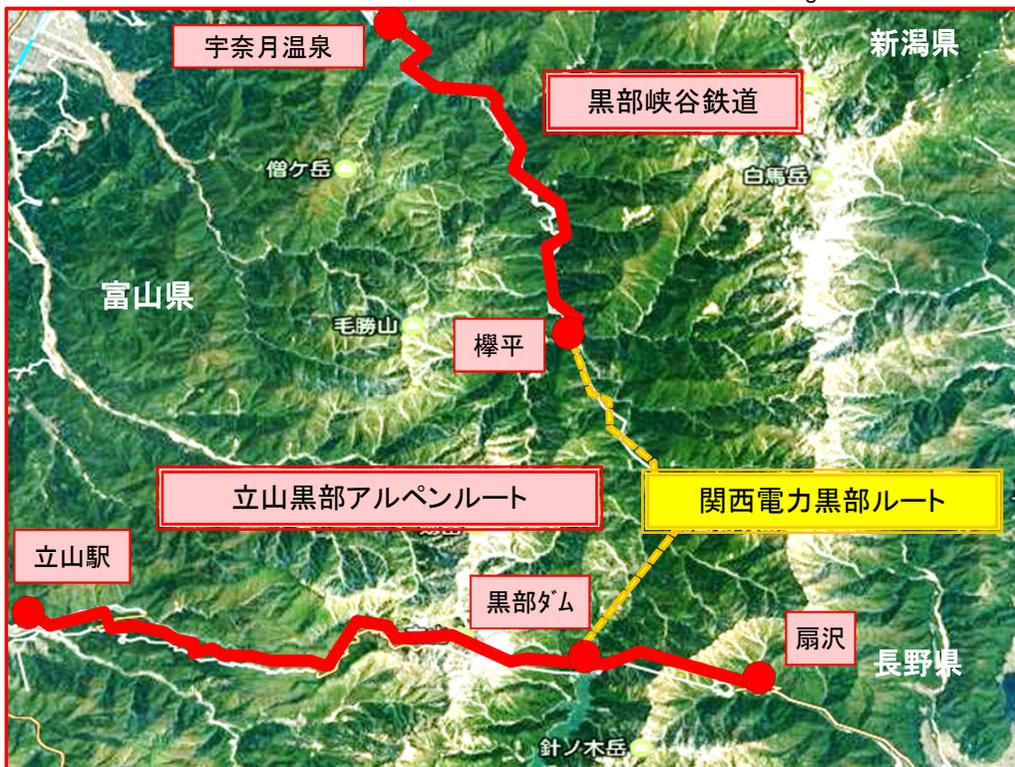
「立山黒部」世界ブランド化推進会議
第3回ワーキンググループ資料
(平成29年10月11日)

黒部ルート見学会の一般開放・旅行商品化プロジェクトについて

富山県観光・交通・地域振興局

関西電力黒部ルートについて（概要）

（出所）Google earthをもとに作成



竪坑エレベーター



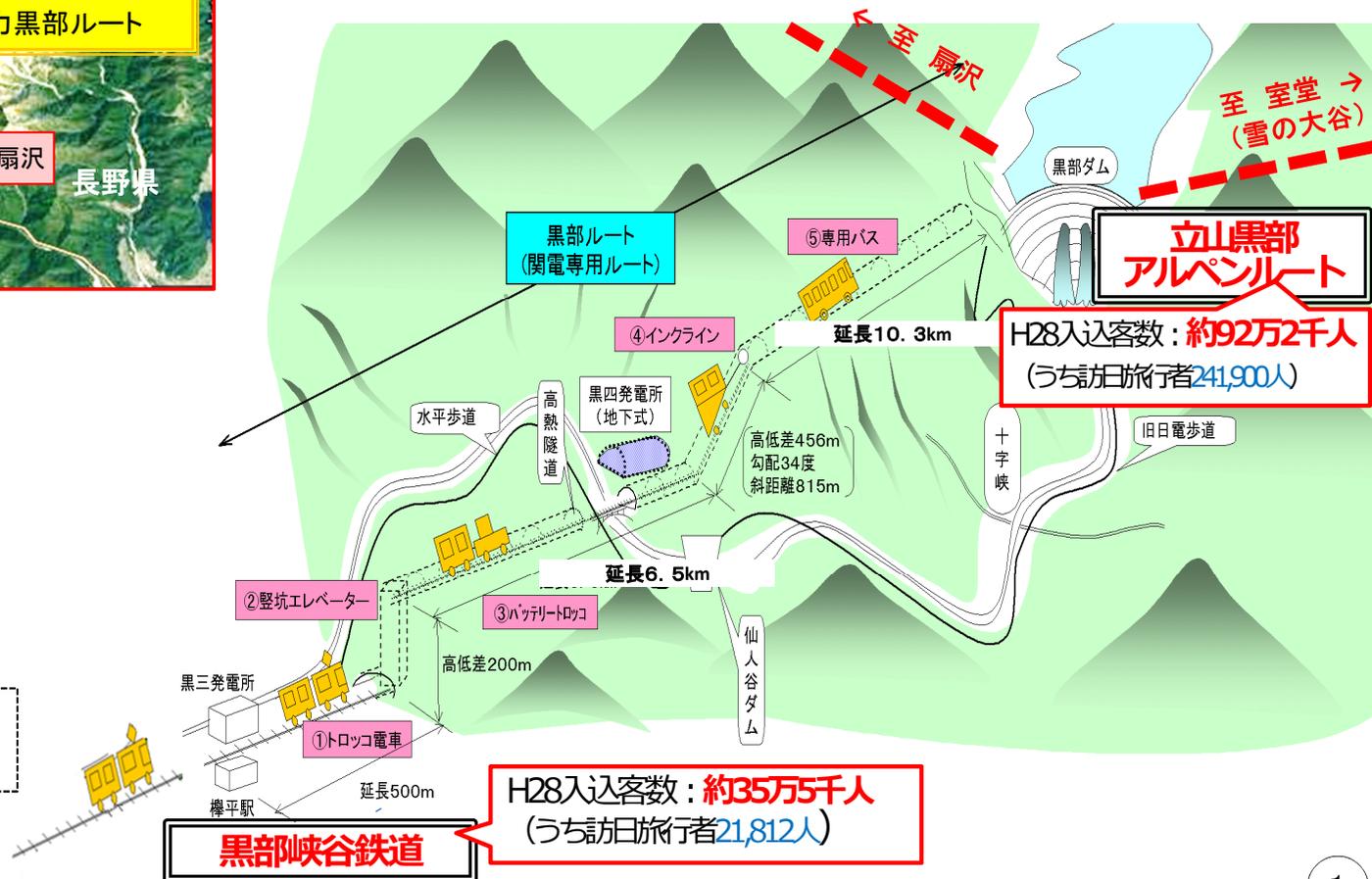
高熱隧道

《黒部ルート》

黒部ダムと黒部峡谷の樺平を結ぶルート。黒部川第三発電所、第四発電所の建設などに伴い、関西電力(株)が工事専用軌道として整備したもの。

現在、公募見学会が行われているが、一般の観光客には開放されていない。

黒部ルートの敷地は、国(林野庁)が所有しており、関西電力が国と賃貸借契約を結んだ上で使用。



関西電力黒部ルートについて（経緯）

時期	出来事
昭和31年6月	関西電力より厚生大臣に誓約書提出 黒部川第四発電所着工に際し、関西電力より厚生大臣に誓約書提出 【契約書の一部】 建設工事が許可された場合は、(中略)厚生省、関係県の指示に従うものとし、特に別記事項については完全に履行することを誓約致します。 8. 黒部ルートは工事竣工後は支障のない限り国立公園の利用に供し西沢小沢等の横坑はその位置で指示に従い通路又は展望地点として整備すること。
昭和31年6月	厚生大臣から関西電力に条件付きで許可書交付 厚生大臣から関西電力に対し、国立公園特別地域内の工作物新築等に係る許可書を条件を附して交付 【許可書記載の条件】 11. 工事用として建設される道路は、工事竣工後はこれを公衆の利用に供すること。 12. 黒部川左岸旧日電歩道は、国立公園歩道としてこれを維持し、公衆の利用に供すること。 14. 以上各号の条件に違反した場合には、許可を取消し、原状回復を命ずることがあること。
昭和41年4月	関西電力から厚生大臣に文書を提出 関西電力から厚生大臣に対し、安全性の問題や発電所運営上の支障があることから、黒部ルート（(1)黒部トンネル、(2)インクライン、(3)高熱隧道、(4)豎坑）の開放はできない旨の文書を提出
平成8年2月	黒部ルート公募見学会の開始 県と関西電力との間で①平成8年に1,000人程度(H10～2,040人に拡大)の公募見学会を実施、 ②黒部川流域調査検討協議会の設置について合意したことを記者発表
平成27年5月	パノラマ展望ツアーの運行開始 黒部ルートの一部(専用鉄道、豎坑エレベーター)を活用した「黒部峡谷パノラマ展望ツアー」を運行開始 (樺平駅周辺上部にパノラマ展望台を整備。展望台へのルートとして、黒部ルートの一部を活用)

黒部ルート見学会について

黒部ルート公募見学会

平成8年度
公募定員1,000人でスタート

平成10年度
実施回数を25回から34回とし、
定員を2,040人に増加

平成28年度末まで
延べ約3万5千人が参加

公募開始から20年間無事故

6/1本体会議における関西電力勝田常務のご発言(抄)
・安全性につきましては、おかげさまで公募を始めてから約20年たちますが、幸い無事故でやってこられた。

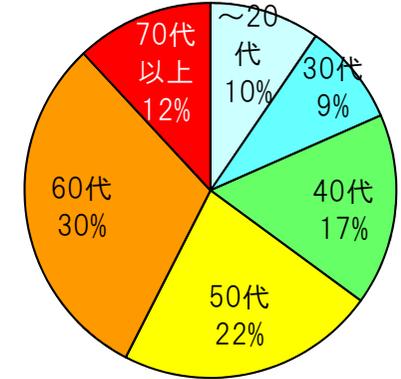
実施概要

- ・参加費 **無料**
- ・催行 **平日のみ34日**(6~11月(週1~2日)実施)
- ・定員 **1日2便、各便30名**
(樺平出発コース、黒部ダム出発コース)
- ・年間枠 **34日×2便×30名=2,040名**
- ・倍率(直近3年間)

年度	募集定員	応募者数	当選倍率
26年度	2,040名	7,595名	3.72
27年度	2,040名	8,862名	4.34
28年度	2,040名	8,762名	4.30

- ・安全対策
実施方法：少人数での運行、案内人の同行
対象制限：小学5年生以上(小学5、6年生は、保護者同伴)
乗り物の乗降や階段の歩行に支障のない方
登山目的の参加は不可
- その他：ヘルメット着用
本人確認(公的証明書の提示)
携行品のチェック(危険物・有害物の持込防止) など

参加者の年齢別割合(平成28年度)
(アンケート結果より(N=1,865名))



社客見学会

関西電力(株)が社客(事業関係者等)を対象に、営業戦略の一つとして実施しているもの

6/1本体会議における関西電力勝田常務のご発言(抄)
・(社客は)電力自由化とかも始まりまして、お客さんとか営業関係の方も私どもお連れしてですね、当社のそういう戦略の一つとなっております。

実施概要

- ・参加費 **無料**
- ・催行 **平日及び土日祝日**
※日数は不明
- ・定員 **各便20名**
※1日あたりの便数は不明
- ・年間枠 **約3,000名**
- ・安全対策 **公募見学会と同じ?**

6/1本体会議における勝田常務のご発言(抄)

・だいたい今の輸送量のトータルでですね、人数というものに換算しますと大体年間の輸送量は20000人程度。その内ですね、私どもの工事の関係、あるいは作業員、資材が、大体、年によって工事量によってだいぶ動きますけれども、約15000人ぐらいが、そういう発電所の維持運用のために使われております。残りの5000の内ですね、公募が2000人と、残りの3000の内の、それは工事量のバッファーが入ってくる訳ですけども、その隙間で社客を運用させていただいているということでございます。

黒部峡谷パノラマ展望ツアーについて

「黒部峡谷パノラマ展望ツアー」

※黒部・宇奈月温泉観光局が旅行商品として販売(平成27年度～)

<概要> トロッコ電車、竖坑エレベーター、峡谷・展望台散策

<実施期間> 6～11月の金土日月(1日4便)

<料金> 大人:5,000円、子供:3,200円
 黒部峡谷鉄道運賃(宇奈月～樺平往復)約3,200円
 ガイド料・保険料等 約1,800円

<定員> 1便あたり53人(年間約2万人)

<利用者実績> H28:11,260名(6/3～11/14の金土日月計94日間運行)

<ツアー総売上げ> H28: 約5,595万円

【参考】パノラマ展望ツアーの運用開始に係るハード面の安全対策

- ・パノラマ展望台、登山道の整備 総額約2,200万円
 …県、黒部市が各1/2負担
- ・関西電力等の施設内の整備
 …関西電力、黒部峡谷鉄道が負担



黒部ルートの現行の見学会等について

	公募見学会 (A)		社客見学会 (B)		現行の見学者枠 (A)+(B)		【参考】 パノラマ展望ツアー (樺平駅～豎坑エレベーター)	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
実施日	○	×	○	○	公募・社客	社客のみ	○	○
	34日間	—	?日間	?日間	?日間	?日間	(金・土・日・月)	約100日間
			1日2便と仮定すると 最少計75日間?		最少計109(34+75)日間?			
対象(選び方)	一般人(抽選)		社客(招待)		一般人(抽選) 社客(招待)		一般人 (旅行商品として販売)	
便数/日	2便 樺平→黒部ダム 黒部ダム→樺平		? 樺平→黒部ダム 黒部ダム→樺平		? 樺平→黒部ダム 黒部ダム→樺平		4便 樺平→豎坑エレベーター	
定員/便	30人		20人?		20人?~30人		53人	
年間定員	2,040人		約3,000人		約5,000人		約21,200人	
	(30人×2便×34日)		(20人×2便×75日?)				53人×4便×約100日	

・ **土日祝日は社客のみに開放**されている

・ **社客見学会の実態(実施日数、1日あたりの便数)**は明らかになっていない。

・ **黒部ルート**の年間総輸送量 約20,000人

このうち **関西電力** 約18,000人 (工事関係者 約15,000人、社客 約3,000人)

一般公募 2,040人

6/1本体会議における勝田常務のご発言(抄)

・ だいたい今の輸送量のトータルでですね、人数というものに換算しますと**大体年間の輸送量は20000人程度**。その内ですね、私どもの工事の関係、あるいは作業員、資材が、大体、年によって工事量によってだいぶ動きますけれども、**約15000人ぐらいが、そういう発電所の維持運用のために使われております**。残りの5000の内ですね、公募が2000人と、残りの3000の内、それは工事量のバッファーが入ってくる訳ですけども、その**隙間で社客を運用**させていただいているということでございます。

これまでの検討状況について①

平成28年度

「『立山黒部』の保全と利用を考える検討会」を設置

⇒「立山黒部」の世界ブランド化に向けた28のプロジェクトの1つとして

「黒部ルート見学会の旅行商品化プロジェクト」が提案される

「『立山黒部』の保全と利用を考える検討会」中間報告書より抜粋

◎ 課題・論点

○アルペンルートと黒部峡谷は、それぞれ異なる特有の自然景観や魅力を有するが、周遊することができない。

○電源開発の歴史を活かし、さらなる観光需要の創出が必要

6/1本体会議において勝田常務のご発言により、約5,000人であることが明らかになった

◎ 委員提案の解決例

黒部ルート見学会の旅行商品化

<とりまとめ>

ワーキンググループにおいて、具体的な課題整理・解決策の検討などを行う。

【メンバー(案)】 有識者

本省課長クラス(観光庁、国交省、環境省)

北陸信越運輸局

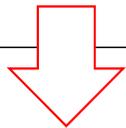
関西電力(株)、黒部峡谷鉄道(株)、富山県など

○現在、安全かつ発電事業に支障なく通過している見学者枠(公募枠・社客枠合計約4,000人)程度又は若干増について、旅行商品化に向け、検討を行う。その際には、県外からの参加者については県内での宿泊を条件とするなど、地域の観光事業者等との連携の在り方について検討。

短期

○次の課題として、安全性の確保を前提として、旅行商品化による見学者枠の大幅拡大等について検討。

短・中期



富山県のみならず、**国の観光立国の推進の観点からも非常に重要なプロジェクト**

「明日の日本を支える観光ビジョン」(抜粋)

魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放

○我が国の歴史や伝統に溢れる公的施設を大胆に一般向けに公開・開放

○地域振興に資する観光を通じたインフラの活用

国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化

○日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」に

○「国立公園満喫プロジェクト」として、まずは5箇所の国立公園で

「国立公園ステップアッププログラム2020」(仮称)を策定。2020年までに、外国人国立公園利用者数を年間430万人から1000万人に増やすことを目指す

地方部での外国人延べ宿泊者数

○地方部での外国人延べ宿泊者数については、2020年には2015年の3倍近い増加となる7000万人泊、2030年には5倍を超える1億3000万人泊を目指す

これまでの検討状況について②

平成29年6月1日

第1回「『立山黒部』世界ブランド化推進会議」開催

- ・検討会で提案されたプロジェクトについて、改めて説明し、プロジェクトの推進体制、スケジュールイメージを共有
- ・次回の会議に向け、7月、9月にWGを開催することを確認
- ・黒部ルートに関して、座長(東京大学大学院 西村教授)から「関西電力さんのかなり細かいデータも出していただいて、それをもとに(WGにおいて)議論していくので、ご協力をお願いしたい」とのとりまとめ

会議では関西電力(株)勝田常務から以下のご発言

- ・「旅行商品化の意義について理解しており、前向きに検討していきたい」
- ・「社客枠は、電力自由化が始まっている中で、関西電力の営業戦略として重要であり、これを旅行商品化することは耐え難い」

・県から関西電力へWGの開催要請

⇒関西電力から「安全対策の検討が終わるまで具体的な話はできない。検討に時間を要するため、WGの開催を延期してほしい」との返答

・「旅行商品化」の内容、実施方法など具体的な内容に関する協議

⇒関西電力から「旅行商品化の詳細については、安全対策の検討結果をもってお話をさせていただきたい」との返答

7月～9月

6/1第1回会議における関西電力勝田常務のご発言(抄)

・やはり県の方から、旅行商品化を進められるということについての意義と期待は、大変理解いたします。関西電力としても、地元企業としてですね、やはり、協力してまいりたいと思っておりますので、前向きに検討していきたいと考えております。

・だいたい今の輸送量のトータルでですね、人数というものに換算しますと大体年間の輸送量は20000人程度。その内ですね、私どもの工事の関係、あるいは作業員、資材が、大体、年によって工事量によってだいぶ動きますけれども、約15000人ぐらいが、そういう発電所の維持運用のために使われております。残りの5000の内ですね、公募が2000人と、残りの3000の内、それは工事量のバッファーが入ってくる訳ですけれども、その隙間で社客を運用させていただいているということでございます。

・電力自由化とかも始まりまして、お客さんとか営業関係の方も私どもお連れしてですね、当社のそういう戦略の一つとなっております。そういう意味では、非常に重要な要でございますので、社客の部分をですね、これに加えられるということは、非常に私どもとしては耐え難いと思っております。

・お金をとって、観光客に通っていただくということになりますと、やはり、私どもに求められる安全対策のレベルというものは、今のままで不十分であると言うのが私どもの考えでございます。

平成29年10月11日(本日) **WG開催**

プロジェクトについて

現状

黒部ルート見学会は、黒部峡谷のすばらしさや電源開発の歴史を体感することができる貴重な機会であるが、年間の定員が2,040名に限定され、また、参加者は抽選で決定されていること、見学会が平日のみに開催されていることなどから、参加できる方が非常に限定されている。



黒部ルート見学会の充実・拡大を図る

(1) 現在、安全かつ発電事業に支障なく通過している見学者枠程度
又は若干増についての旅行商品化

短期

(2) 安全性の確保を前提とした見学者枠の拡大

短・中期

プロジェクトの内容

プロジェクトで提案されている要素 (現在の公募見学会からの変更点)	メリット
①見学者枠の拡大 (1)まず、「安全かつ発電事業に支障なく通過している見学者枠程度又は若干増」 (2)次に、「安全性の確保を前提とした見学者枠の拡大」	より多くの方々へ見学機会を提供できる。黒部峡谷のすばらしさや電源開発の歴史を多くの方に体感していただけるほか、発電事業に対する理解促進にもつながる。
②見学会の土・日・祝日実施	これまで平日の参加が難しかった若い世代など、より広範な方々の参加が可能になる。
③見学者の選び方の変更 (公募抽選方式⇒予約先着方式) ※参加可能な方の範囲(小学5年生以上、乗り物の乗降や階段の歩行に支障のない方等)は従来と同じ	申込みと同時に確定することで、より広範な方々の参加が可能になる。また、旅行計画を早い段階で立てることができ、県内観光や宿泊場所の選択肢が増える。
④県内宿泊・周遊等の促進	県内宿泊・県内観光と一体となった旅行の提案により地元経済への波及効果が期待できる。

プロジェクトの具体的な内容①

①見学者枠の拡大

現在の公募見学会は定員が2,040名に限定されており、当選倍率は平日に限られているにも関わらず極めて高いことから、見学会に参加できる方はごく少数。

見学会の枠を拡大することで、より多くの方々へ見学機会を提供できる。黒部峡谷のすばらしさや電源開発の歴史を多くの方に体感していただけるほか、発電事業に対する理解促進にもつながる。

・黒部ルートの間総輸送量 約20,000人
 このうち関西電力 約18,000人
 (工事関係者 約15,000人)
 (社 客 約3,000人)
 一般公募 2,040人

現在、安全かつ発電事業に支障なく通過している「現行の見学者数」について議論するためには、社客見学会の実態について把握する必要がある。

	公募見学会 (A)		社客見学会 (B)		現行の見学者枠 (A)+(B)	
	平日	土日祝日	平日	土日祝日	平日	土日祝日
実施日	○	×	○	○	公募・社客	社客のみ
	34日間	—	?日間	?日間	?日間	?日間
対象 (選び方)	一般人(抽選)		社客(招待)		一般人(抽選) 社客(招待)	
便数/日	2便 樺平→黒部ダム 黒部ダム→樺平		?		?	
定員/便	30人		20人?		20人?~30人	
年間定員	2,040人 (30人×2便×34日)		約3,000人 (20人×2便×75日?)		約5,000人	

1日2便と仮定すると
最少計75日間?

最少計109(34+75)日間?

②見学会の土・日・祝日実施

現在の公募見学会は平日のみの開催であるため、参加できる方が限定されている。

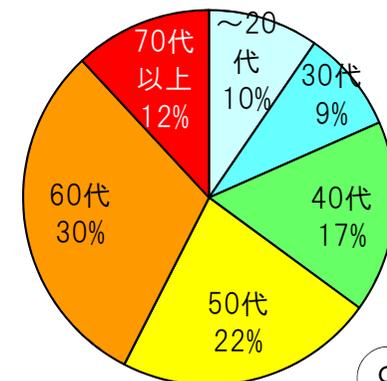
現在、社客のみに開放している土・日・祝日を一般向けに開放することで、これまで平日の参加が難しかった若い世代など、より広範な方々の参加が可能になり、応募者の飛躍的な増加が見込まれる。

公募見学会実施概要

- ・参加費 無料
- ・催行 **平日のみ** 34日(6~11月(週1~2日)実施)
- ・定員 **1日2便、各便30名**
(樺平出発コース、黒部ダム出発コース)
- ・年間枠 34日×2便×30名=**2,040名**
- ・倍率(直近3年間)

年度	募集定員	応募者数	当選倍率
26年度	2,040名	7,595名	3.72
27年度	2,040名	8,862名	4.34
28年度	2,040名	8,762名	4.30

参加者の年齢別割合(平成28年度)
(アンケート結果より(N=1,865名))



プロジェクトの具体的な内容②

③見学者の選び方の変更 (公募抽選方式⇒予約先着方式)

現在の公募見学会は応募してから抽選までの期間(最大約3か月半)は当落が不確定な状態が続く。また、当選しなかった場合は、応募者への結果連絡はない。

予約先着方式に変更することで、申込みと同時に参加が確定する。これにより、より広範な方々の参加が可能になるとともに、旅行計画を早い段階で立てることができ、県内観光や宿泊場所の選択肢が増える。

④県内宿泊・周遊の促進

県内での宿泊、観光と一体となった旅行を提案することで、地元経済への波及効果が期待できる。また、見学会参加者の満足度向上にもつながる。

※旅行商品として販売した場合においても、黒部ルート見学会自体は無料とする。

公募見学会応募期間 (平成28年度)

応募(5/1)から締切(8/16)・抽選まで約3か月半不確定

回数	見学日	応募締切日	応募受付開始日	回数	見学日	応募締切日	応募受付開始日
第1回	6月7日(水)	4月26日(水)	3月6日(月)	第18回	8月31日(木)	7月18日(火)	5月1日(月)
第2回	6月8日(木)	4月26日(水)		第19回	9月7日(木)	7月26日(水)	
第3回	6月14日(水)	4月28日(金)		第20回	9月8日(金)	7月26日(水)	
第4回	6月15日(木)	4月28日(金)		第21回	9月14日(木)	8月2日(水)	
第5回	6月21日(水)	5月10日(水)		第22回	9月21日(木)	8月9日(水)	
第6回	7月12日(水)	5月31日(水)		第23回	9月25日(月)	8月14日(月)	
第7回	7月13日(木)	5月31日(水)		第24回	9月28日(木)	8月16日(水)	
第8回	7月19日(水)	6月7日(水)		第25回	10月5日(木)	8月23日(水)	
第9回	7月20日(木)	6月7日(水)		第26回	10月6日(金)	8月23日(水)	
第10回	7月28日(金)	6月15日(木)		第27回	10月12日(木)	8月30日(水)	
第11回	7月31日(月)	6月15日(木)		第28回	10月19日(木)	9月6日(水)	
第12回	8月4日(金)	6月22日(木)	第29回	10月23日(月)	9月11日(月)	7月3日(月)	
第13回	8月9日(水)	6月28日(水)	第30回	10月26日(木)	9月13日(水)		
第14回	8月10日(木)	6月28日(水)	第31回	11月1日(水)	9月20日(水)		
第15回	8月23日(水)	7月12日(水)	第32回	11月2日(木)	9月20日(水)		
第16回	8月24日(木)	7月12日(水)	第33回	11月8日(水)	9月27日(水)		
第17回	8月28日(月)	7月18日(火)	第34回	11月9日(木)	9月27日(水)		

※当選者へは必要書類の発送(各応募締切日から1週間以内)をもって当選通知(抽選に外れた方への連絡はしていない。)

料金の考え方について

今回の提案は、旅行商品化といっても、**黒部ルート**の通行自体を有料化しようというものではない。

【料金の考え方】 ※旅行商品化後も現在の公募見学会と 料金の考え方は全く変わらない

